

投資者の皆様へ

2018年10月25日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2018年10月25日に国内の株式市場が大きく下落したことを受けて、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資助言を受け弊社が運用しております以下のファンドも影響を受け、基準価額が大きく下落いたしました。つきましては、株式市場の下落要因と今後の見通しについての当社の見方と共に、助言ファンドに関するエンジェルジャパン・アセットマネジメントの投資方針等についてお知らせいたします。

1. 基準価額及び下落率(10月25日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI小型成長株ファンド ジェイクール(愛称:jcool)	16,064	▲920	▲5.4
SBI日本小型成長株選抜ファンド(愛称:センバツ)	20,190	▲1,148	▲5.4

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2.基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

上記ファンドに関する要因及び今後の見通しは以下の通りです。

本日の国内株式市場は、前日に米株式市場が大きく下落した影響を受け、日本の株式市場も大きく下落しました。日経平均株価は、前日比822円45銭安(同3.72%安)の21,268円73銭で取引を終了しました。

24日の米株式市場は大きく下落し、ダウ工業株30種平均は前日比608ドル安と、7月以来の安値付近まで下落しました。23日に米国で発表された決算発表の内容は、米中貿易戦争の追加関税の悪影響や、中国市場の減速を示唆するものでした。上方修正の期待の高かった主要銘柄が業績見通しを据え置いたことで大きく売り込まれました。

米中貿易戦争が業績に与える影響が顕在化していることが改めて意識され、本日の国内株式市場においても、運用リスク回避の売りが広がりました。中でも電気機器や精密機器、機械など海外の経済動向に敏感な銘柄が大きく下げました。投資家心理が悪化すると上昇する日経平均ボラティリティインデックスが、2月以来の高水準を付けるなど株式市場では売り圧力が強まりました。外国為替市場では、米国の株安による日本の株式市場の急落を受けて、投資家の運用リスクを避ける動きが強まり、一時1ドル＝111円82銭付近まで円高が進行しました。

国内株式市場の大幅な下落に伴い、弊社の運用する上記ファンドの組入銘柄の株価も影響を受けたことから、ファンドの基準価額は下落いたしました。株式市場については、実体経済は堅調である一方、米通商政策への先行き不透明感や中国をはじめとする世界景気の停滞感の台頭など、主に外部環境の影響により神経質な展開が続くと予想されます。

このような環境下、当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

3.エンジェルジャパン・アセットマネジメントの投資方針等

10月に入り、世界の株式市場は全般的に大きく揺れ動いている状況にあります。投資家の不透明感を示す日経平均ボラティリティインデックスも今月に入り急速に上昇し、過度に反応する傾向が高まっているように感じています。

目先は依然として、企業業績だけではなく米国金融政策の見通しやトランプ米大統領の発言、英国の欧州連合(EU)離脱を巡る欧州情勢などの外的要因により左右されることが予想されますが、このような時こそ落ち着いて個々の組入企業における足元の状況を見極めることが重要と考えております。本日も大きく株価が調整した企業については、市況以外の要因がないか逐次電話などで確認しましたが、投資判断を大きく変えるべき企業はありませんでした。

これから3月期決算企業の上半期決算発表が本格化してきます。全般的には概ね想定通りと考えておりますが、一つ一つ丹念に分析を行い、企業にも確認しながらポートフォリオの質をさらに高めていく方針です。

また、本ファンド最大の特徴の一つは経営者に対する定期的な個別直接面談調査にあります。環境変化に対する業績への影響は定期的に面談を繰り返すことで、より正確につかむことができると考えています。また市況の変化により一時的な影響を受けても、その中でむしろシェアを高める、次に向けて様々な手を打つなど、結果的に勝ち組としての地位を固めていく企業も少なくないため、常に冷静な視点で、かつチームメンバーの複眼を活かしながら対応しています。

したがって投資者の皆様におきましても、何卒より一層のご信頼を賜りますようお願い申し上げます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.24%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.16%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。